大阪ガスのお問い合わせ先

大阪事業本部	〒550 大阪市西区千代崎3丁目南2-37	☎ 大阪	06(586)1122
南部事業本部	〒590 堺市住吉橋町2-2-19	☎ 堺	0722(38)1131
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1-5	☎ 和歌山	0734(31)2481
北東部事業本部	〒578 東大阪市稲葉2-3-17	☎ 河内	0729(62)1131
高槻事業所	〒569 高槻市藤の里町39-6	☎ 高槻	0726(71)0361
奈良支社	〒631 奈良市学園北2-4-1	☎ 奈良	0742(44)1111
兵庫事業本部	〒650 神戸市中央区東川崎町1-8-2	☎ 神戸	078(360)3100
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4-8	☎ 姫路	0792(85)2221
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6-57	☎ 豊岡	0796(23)2221
京滋事業本部	〒600 京都市下京区中堂寺栗田町1	☎ 京都	075(311)7381
滋賀支社	〒525 草津市西大路町5-34	☎ 草津	0775(62)5311
滋賀東支社	〒522 彦根市大東町12-11	☎ 彦根	0749(22)3131
長浜営業センター	〒526 長浜市南呉服町3-4	☎ 長浜	0749(62)7171
本社	〒541 大阪市中央区平野町4-1-2	☎ 大阪	06(202)2221

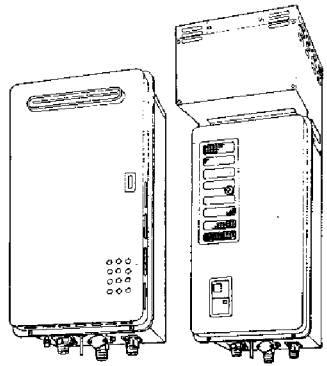
大阪ガス株式会社

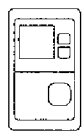
【おねがい】
ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にして(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

SAN8578 ①

ガス給湯器

33-355/357型


(33-355型)　(33-357型)


(メーンリモコン)

型式名　GQ-2421WZ
GQ-2421WZ-HP

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意)……1
各部のなまえとはたらき……7
初めてお使いになるときは……8
使いかた
　お湯の出しかた……9
冬期の凍結による破損予防……11
日常の点検・手入れのしかた……13
故障かな？と思ったら……16
アフターサービスについて……20
主な仕様……21

取扱説明書

大阪ガス

このたびは大阪ガスのガス給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
・この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
・別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
・この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

必ずお守りください(安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために

取扱いを誤った場合に危害・損害の程度を、つぎのように区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

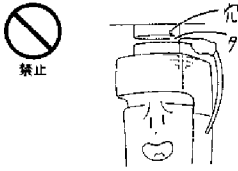
⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
内容をよく理解して正しくお使いください。

絵表示	意味	絵表示	意味
⚠	特定しない一般的な警告・注意	⃠	特定しない一般的な禁止
⚠	感電注意	⃠	火気禁止
⚠	高温注意	⃠	接触禁止
	電源プラグを抜く	⃠	分解禁止
	アース必要		

⚠危険

排気ダクトの外れ、穴あき、つまり (33-357型のみ)



●排気ダクトが外れていたり、穴があいていないか確認してください。
排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。

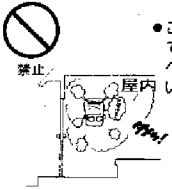
⚠危険

ガス漏れ時の処置

1. すぐに使用をやめ、本体のガス栓を閉じる。
2. お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社に連絡する。

全ての処置が終るまで
●火をつけないでください。
●電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しをしないでください。
火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

屋内設置の禁止 (33-355型のみ)



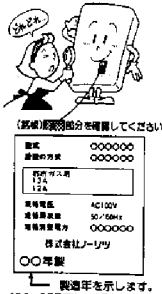
●この本体は屋外設置形です。屋内(浴室内含む)への設置は絶対にしないでください。
一酸化炭素中毒の原因になります。

換気に注意 (33-357型のみ)

●閉め切った部屋で長時間使用しないでください。使用中は、お部屋の換気口・給気口は常に開けて物などでふさがないでください。
不完全燃焼の原因になります。

⚠警告

使用ガス、電源の確認

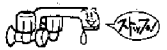


●銘板(ラベル)に表示しているガスの種類(ガスグループ)以外では使用しないでください。
表示以外のガスで使用すると、異常な燃焼、点火の時の爆発などの原因になります。
●電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です。
他の電源で使用すると火災・感電の原因になります。
●わからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

(33-357型の銘板貼付位置は少し異なります。)

異常時・緊急時の処置

1. 給湯栓を閉める。(使用中の場合)



2. 運転スイッチを「切」にする。
3. ガス栓・給水元栓を閉める。

●異常時(排気口から煙が出る、こげ臭いなど)または、地震・火災などの緊急の場合は上記の処置をし、すぐにお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
火災・感電・故障などの予防のため。

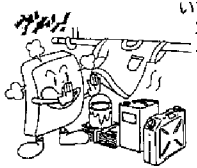
⚠警告

やけどに注意

- シャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。
  やけど予防のため。
- 入浴の際には、手でお湯の温度を確認してから入浴してください。
  やけど予防のため。

火災の予防

- 本体や排気口のまわりに燃えやすい物（新聞紙、木材、灯油、ガソリン、ベンジン、スプレー缶など）を置かないでください。
  火災・爆発の原因になります。

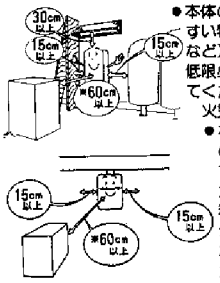


波板囲いなどの禁止

(33-355型のみ)

- この本体は屋外設置形です。増改築などによって屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。
  一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

周囲の防火措置

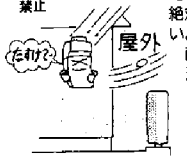


- 本体のまわりに燃えやすい物（樹木、木材、箱など）がある場合は、最低限必要な距離をとってください。
  火災予防のため。
- 本体や排気ダクトのまわりに燃えやすい物（木材、棚、カーテンなどの布、箱など）がある場合は、最低限必要な距離をとってください。

※アフターサービス上の寸法です。

屋外設置の禁止

(33-357型のみ)



- この本体は屋内設置形です。屋外への設置は絶対にしないでください。
  雨水が侵入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。

本体の設置について

(33-357型のみ)

- この本体は排気ダクト直結式です。排気筒により単独で屋外へ排気するような設置はしないでください。
  排ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 本体一台あたり1220㎥／hの規定風量が確保できる排気ダクトに接続してください。

⚠警告

排気に注意 (33-357型のみ)

- 排気ダクトの排気ファンが停止しているときは使用しないでください。
  室内に排ガスが逆流し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

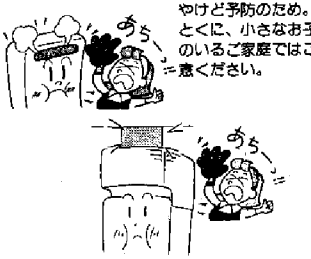
本体の設置・移動工事は

- 本体の設置・移動及び付帯工事はお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。
  思わぬ事故を予防するため。

⚠注意

やけどに注意

- 排気口・排気ダクトのまわりは、使用中や使用後しばらくは高温です。手を触れないでください。
  やけど予防のため。
  とくに、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



給気フィルタのつまり

(33-357型のみ)

- 給気フィルタは物などでふさがないでください。
- 給気フィルタがゴミやホコリなどでふさがれていないか確認してください。
  不完全燃焼の原因になります。

用途について

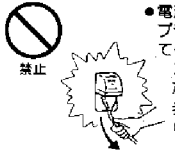
- 給湯・シャワー以外の用途には使用しないでください。
  思わぬ事故を予防するため。

ヘアースプレーなどの禁止

- 本体の近くでヘアースプレーやスプレー洗剤などの使用はしないでください。
  故障の原因になります。

お願い

抜き差しはプラグを持って



●電源プラグの抜き差しはプラグを持っておこなってください。
コードを持って抜くと芯線の一部が断線して発熱・火災の原因になります。

アースの確認

●この本体はアースが必要ですので確認してください。
本体が故障した場合、感電の原因になります。

雷時の処置

●近くで雷の音が聞こえてきたときは、本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源コードが埋め込まれている場合は、元のブレーカを切ってください。
落雷による電子部品の破損を予防するため。

特監法対象機器です

(33-357型のみ)

●この製品の設置工事及び変更工事は、法律（特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律）に基づいておこない、工事完了後機器本体に法定のステッカー（下記表示ラベル）を貼り付けることになっていますので確認してください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律施行令の規定による表示	
工事者登録者の氏名又は名称	
工事者登録者の連絡先	TEL.
監督者の氏名	資格証の番号
施工内容	
施工年月日	年　月　日

電源プラグは確実に

●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認しガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

ガス事故防止

●使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

感電に注意

●電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。
感電の原因になります。

停電時の処置

●停電したときは、運転が停止します。
●停電後、再通電すると設定した給湯温度が、お買い上げ時の設定に変わる場合がありますので確認してから使用してください。
（電源プラグを抜いたときも同じです。）

太陽熱温水器との接続禁止

●太陽熱温水器とは絶対に接続しないでください。お湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性が高くなります。また本体の故障の原因にもなります。

お願い

凍結に注意

●冬期は、凍結による機器の破損予防のため必要な処置をしてください。
（⇒11ページ）
凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

本体・リモコンの分解禁止

●本体・リモコン・操作部は絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。
(33-357型について)
●給湯器本体とフードは一体です。
絶対に分離しないでください。

市販の補助用具使用について

●この本体の純正部品以外は使用しないでください。
思わぬ事故を予防するため。
●水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
●給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。
（わからないときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社に確認してください。）

排気ガスについて

(33-355型のみ)

●排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置してください。
ガラスが割れたり、変色したりする原因になります。

長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は、凍結および万一のガス漏れを防止するため、必要な処置をしてください。
（⇒12ページ）

リモコン・操作部の掃除

●ベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。
変形する場合があります。

●水をかけないでください。(防水タイプではありません。)
故障の原因になります。

積雪時の注意

●積雪時には排気口・給気口の点検、除雪をおこなってください。
排気口・給気口への積雪や屋根から落ちた雪により、排気口・給気口がふさがれて不完全燃焼し、本体の故障の原因になることがあります。

日常のお手入れ

●浴そう、洗面台はこまめにそうじしてください。
湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな鋼イオンとせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

飲用にお使いのときは

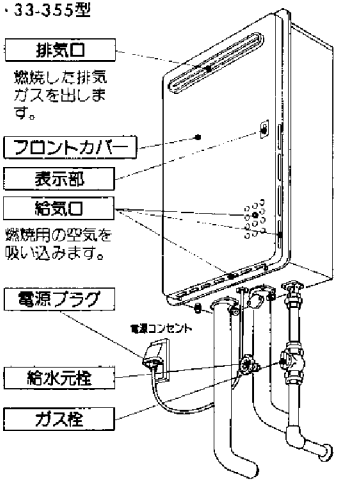
●長時間使わなかった後の使い初めのお湯は、念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用・調理にお使いください。

必ずお守りください（安全上の注意）

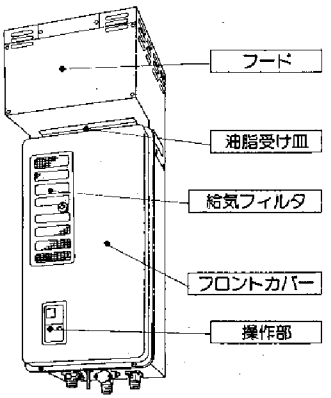
各部のなまえとはたらき

本　体

・33-355型



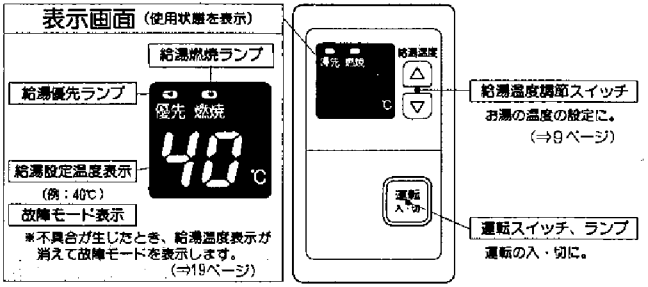
・33-357型



※上のイラストは施工例です。
配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

メーンリモコン
操　作　部（33-357型の場合）

33-357型の場合は本体に組み付けられています。

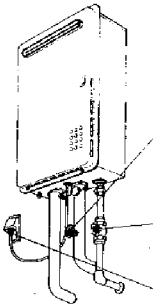


※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

使いかた
初めてお使いになるときは

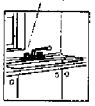
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。
イラストは33-355型で説明していますが、他の製品も同様におこなってください。

●1~4の手順でおこなってください。

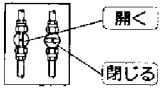


1 給水元栓を全開にする。
（左いっぱいに回す。）

2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。



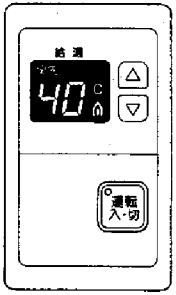
3 ガス栓を全開にする。



4 電源プラグを差し込む。

増設リモコン（別売品）

・運転スイッチの「入／切」
・給湯温度の設定
ができます。

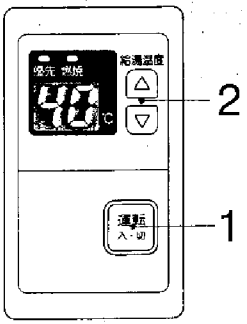


＜お湯の温度を調節する場合（優先にしたいとき）＞
1. 表示画面に「優先」が表示されているか確認する。
2. 表示されていない場合は、運転スイッチを押していったん「切」にし、再度運転スイッチを押す。
3. 表示画面に「優先」が表示されているか確認する。

※表示画面は、メーンリモコンと少し異なります。

使いかた

お湯の出しかた

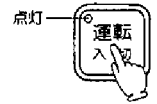


運転前の準備
(33-357型のみ)

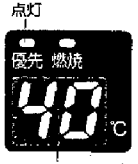
排気ダクトのファンを運転（回転）させる。排気ファンが運転していない時は本体を使用しない。

室内に排ガスが逆流し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

1 「運転」スイッチ押す



ランプが点灯します。



前回に設定した温度
(例：40℃)

警告

高温注意

- 60℃、75℃に設定したときは《60》、《75》の表示が約10秒間点滅してお知らせします。その後点灯します。
  やけど予防のため。

点滅→点灯

- 食器洗浄機と接続する場合、設定温度を75℃に固定できますが、やけどを予防するために食器洗浄機専用とするか、または、他の水栓を使用する場合はサーモ付混合水栓を必ず使用してください。
  （なお、設定温度の75℃固定をご希望される場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスまでご相談ください。）

〈一度設定すると記憶します。〉

2 温度を調節する
(変更しない時は、温度を確認する。)

給湯温度

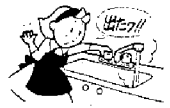
△ あつくなる

▽ ぬるくなる

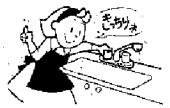
37～48℃の間は、一度押す毎に1℃ずつ変わります。

お湯の温度

3 給湯栓を開ける



4 給湯栓を閉める



(目安の温度：℃)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
食器洗いなど		シャワー、給湯など			給湯など				高温	

いったん運転スイッチを切り、再度使用する場合、前回の設定温度が75℃のときは、安全のため60℃になります。

警告

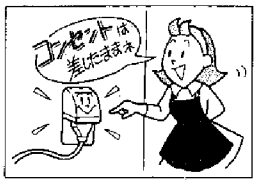
高温注意

- シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
  やけど予防のため。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。
  やけど予防のため。

冬期の凍結による破損予防

冬期には本体内の水が凍結し、本体を破損することがあります。
次のいずれかの方法により凍結による破損を予防してください。

凍結予防ヒータによる方法（通常の寒さのとき）



この本体は、気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒータが作動して本体内を保温します。

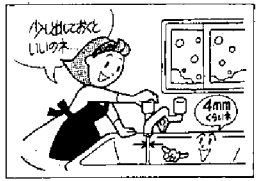
- リモコン・操作部の運転スイッチ「入／切」に関係なく作動します。
- 異常寒波、停電のときは「通水による方法」、「本体内の水を抜く方法」で凍結予防してください。

お願い

- 凍結予防ヒータは、電源プラグを抜くと作動しません。
- 本体内の凍結は予防できても、配管・バルブ類の凍結は予防できませんので、必ず保温材または、電気ヒータを巻く等の処置をしてください。
（わからないときは、販売店に確認してください。）

通水による方法（異常寒波などのとき）

- この方法は、本体だけでなく給水・給湯配管、バルブ類の凍結も同時に予防できます。



1. 運転スイッチを「入」にし、運転ランプの点灯を確認します。（リモコン・操作部がある場合）
2. ガス栓を閉めます。
3. 給湯栓を開け、1分程そのままにし以下の状態になることを確認します。
（リモコン・操作部がある場合）
表示画面に"!!"が点滅します。
（本体のみの場合）
燃焼ランプが点滅します。
4. 給湯栓より少量の水（1分間に約400cc・太さ約4mm）を流したままにしておきます。
5. 流量が不安定になることがありますので、約30分後に再度流れる量を確認してください。

再びご使用になるとき

1. 給湯栓を閉めます。
2. 運転スイッチを「切」にした後、「入」にします。（リモコン・操作部がある場合）
3. ガス栓を開けます。
4. 給湯栓を開け、お湯が出ることを確認します。

お願い

- この処置をしても凍結する恐れのある場合には、水抜きをおこなってください。（⇒12ページ）

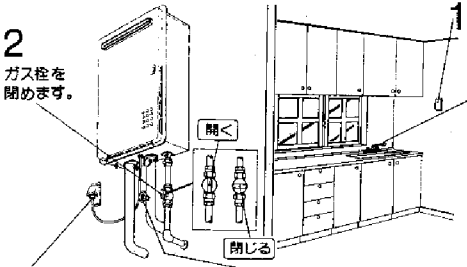
本体内の水を抜く方法（異常寒波、長期間使用しないとき）

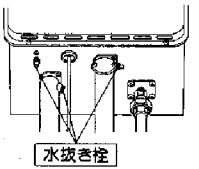
水抜きの順序（33-35頁のイラストで説明していますが、他の機器でも同様の手順でおこなってください。）

⚠注意

お湯の使用後は、排気口のまわりと本体内のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

- 1~7の手順でおこなってください。





- 再度ご使用になるまでそのままの状態にしておきます。

再びご使用になるとき

1. 水抜き栓（3ヶ所）を閉めます。
2. すべての給湯栓をいったん閉めます。
3. 8ページの「初めてお使いになるときは」の手順1～4にしたがって使用してください。

お願い

- 本体内の凍結は予防できても、配管・バルブ類の凍結は予防できませんので、必ず保温材または、電気ヒータを巻く等の処置をしてください。
（わからないときは、販売店に確認してください。）

凍結したときは

- 凍結した場合は、給湯栓を開いても水は出てきません。解凍を待ってください。
- 水が出るようになっても、本体や配管から水漏れがないかよく確認の上、ご使用ください。

お願い

- 凍結したまま使われますと、本体に異常が生じる場合があります。
- 凍結により本体が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

日常の点検と手入れ-1

（33-357型の場合）

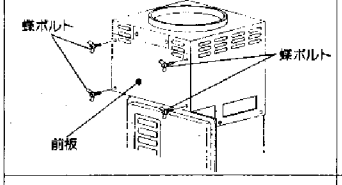
⚠ 注意

高温注意

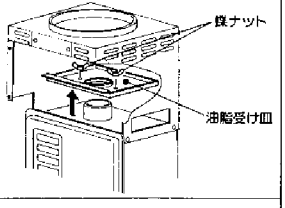
本体を使用後は、排気ダクトのまわりが高温になっています。
本体が冷えてから、点検と手入れをしてください。
やけど予防のため。

油脂受け皿の掃除［こまめに掃除（月1回程度）］

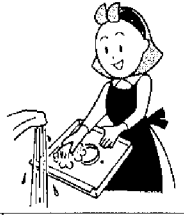
1. 蝶ボルト（4ヶ）を外してフードの前板を外す。
（ボルトを外すとフードの前板は下に落ちますので前板の下部を手で持っていてください。）



2. 蝶ナット（2ヶ）を外して油脂受け皿を少し上に持ち上げて取り出す。
（たまっている油がこぼれないように注意してください。）



3. 中性洗剤で洗う。油脂受け皿に油が溜っている場合は、中性洗剤を含ませた布などで拭き取ってください。



4. 掃除後はよく乾燥させてから、1～2の逆の手順で取り付ける。

お願い

- 可燃性の溶剤、その他可燃性の掃除剤を使用しないでください。
- ベンジン・シンナー・みがき粉・スチールウールなどでふかないでください。表面がキズつきます。
- 故障の原因になりますので、油脂受け皿を取り外したまま本体を使用しないでください。

給気フィルタの掃除［こまめに掃除（月1回程度）］

1. 取付用ツマミを左に回す。
（ツマミはフィルタから外れません。）

2. 給気フィルタの右端を少し手前に持ち上げながら右に引き出す。

3. 給気フィルタを水洗いする。
やわらかいブラシなどを使って、金網に強い力をかけないようにする。

4. 水洗い後はよく乾燥させてから、1～2の逆の手順で取り付ける。
（給気フィルタを外したままでは運転ランプが点滅し使用できません。）

お願い

- 給気フィルタはベンジン・シンナー・みがき粉などでふいたり、液状殺虫剤や熱湯などかけたりしないでください。
- 故障の原因になりますので、給気フィルタを取り外したまま本体を使用したり、ぬれた給気フィルタを取り付けて使用しないでください。

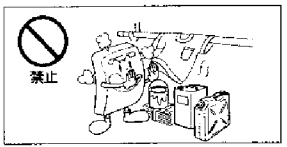
日常の点検と手入れ-2

安全にお使いいただくため、点検と手入れを必ずおこなってください。

⚠ 注意

本体を使用後は、排気口のまわりが高温になっています。
本体が冷えてから、点検と手入れをしてください。
やけど予防のため。

点　検（月1回程度）



- 本体・排気ダクトのまわりに燃えやすい物はありませんか。
- 排気口・給気口・給気フィルタがふさがっていませんか。

- 本体および配管から水漏れはありませんか。
- 本体の外観に異常は見られませんか。

（給湯使用中に点検）

- 運転中に本体から異常音が聞こえませんか。

お手入れ（月1回程度）

本体

固くしぼった布で汚れをふきとってください。

- ベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。変色する場合があります。

リモコン・操作部

固くしぼった布で軽くふいてください。

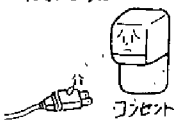
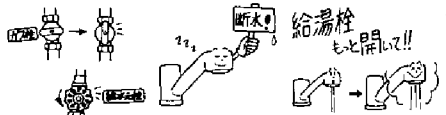
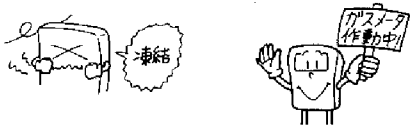
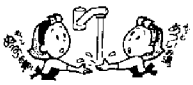
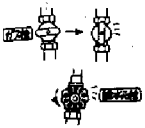
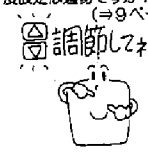
- ベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。変色する場合があります。
- 故意に水をかけないでください。防水タイプではありません。

〈定期点検のすすめ（有料）〉

・ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

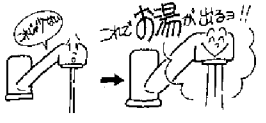
故障かな？と思ったら-1

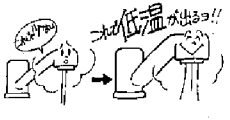
次のことをお調べください

症　状	お調べいただきたいこと
●運転ランプが点灯しない。 	停電していませんか？ 電源プラグが差し込まれていますか？ 
●給湯栓を開いてもお湯が出ない。 ●使用中に消火した。 ※リモコンに故障モードが出ている場合は、19ページを参照ください。	全開になっていますか？　断水していませんか？　給湯栓は十分開いていますか？  凍結していませんか？（⇒11ページ）　ガスメータ（マイコンメータ）が作動していませんか？ 
●高温のお湯が出ない。 ●低温のお湯が出ない。 	全開になっていますか？  リモコン・操作部の給湯温度設定は適切ですか？（⇒9ページ） 

故障かな？と思ったら-2

次のような場合は故障ではありません

こんな場合	お答えします
給湯栓を絞りすぎて水になった。 	給湯栓から流れるお湯の量が、1分間に約3.7ℓ以下になったとき消火します。 ★給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない。 	本体から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
お湯が白く濁って見える。 	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。
寒い日に排気口から白い煙りが出る。 (33-355型の場合) 	冬に、はく息が白く見えるように排気ガス中の水蒸気が白く見えます。

こんな場合	お答えします
運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音（ブ～ン）がする。 	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転します。
低温のお湯が出ない。 	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 ★給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
本体の水抜き栓（給湯配管側の過圧防止安全装置）からお湯（水）が少しの間出ることがある。	製品の機能上（しくみ）であり、異常ではありません。
停電または、電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう。	停電または、電源プラグを抜いた後、再通電すると、給湯設定温度がお買い上げ時の設定に、変わる場合がありますので確認してください。

故障かな？と思ったら-3

故障モードをお調べください

この本体は不具合が生じたとき、その原因を故障モードで表示（点滅）する機能があります。
下表に応じた処置をおこなってください。
（運転ランプも点滅します。）

（例）＜ 11 ＞を表示したとき

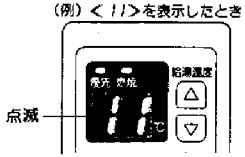


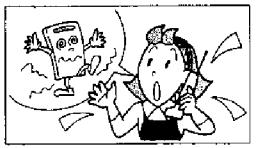
表　示	原　因	処　置
11	給湯燃焼(燃焼)を検出しなかったため	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして給湯栓を開き、表示が出なければ正常です。
（33-357型の場合） 15	ダクトのファンが止まっています	ダクトのファンを運転させ、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして給湯栓を開き、表示が出なければ正常です。 ※それでも15を表示する場合は、ファンの能力が不足している可能性がありますので点検を受けてください。
運転ランプのみ点滅 運転スイッチをいったん「切」にすると 90	本体の燃焼に異常が生じています	（33-355型の場合） 修理を依頼してください。 （33-357型の場合） 給湯栓を閉めて、給気フィルタを掃除してください。（14ページ）それでも表示が出る場合は、修理を依頼してください。
90	本体の燃焼に異常が生じています	修理を依頼してください。
99	本体の燃焼に異常が生じました	修理を依頼してください。

※運転ランプのみが点滅して燃焼しない場合は、給気フィルタ取り付け忘れが考えられますので、取り付けられているか確認してください。（⇒14ページ）

下記の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 上記以外の表示（例：61など）が出るとき
- 上記の表示が処置しても繰り返し出るとき
- 運転ランプが点滅しているとき、その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき



●16～19ページの「故障かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社に連絡してください。

連絡していただきたい内容
・品名……33-355・33-357型
（下記のようなラベルを本体の正面に貼付けてあります。）
（例）

（N）33-355
大阪ガス株式会社

・お買い上げ日……（保証書をご覧ください。）
・異常の状況……（故障モードの表示など、できるだけくわしく）
・お名前・ご住所・電話番号
・訪問ご希望日

保証について

●この製品には保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになった後は、大切に保管しておいてください。
●無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

●この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後7年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

●転居などで本体を移設されるときは、本体（銘板）に表示してあるガス（ガスグループ）・電源（電圧・周波数）が、移設先と合っているか、必ずご確認ください。
不明の時は、移設先のガス事業所、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご相談ください。
●ガス（ガスグループ）などの異なる地域へ移設されるときは、本体の改造・調整が必要です。
この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様

仕 様 表

製品名		33-355型	33-357型
型式名		GQ-2421WZ	GQ-2421WZ-HP
種類	給湯方式	先止め式	
	設置方式	屋外設置形	屋内設置形
点火方式		放電点火式	
水圧	使用水圧	98.1～981kPa（1.0～10.0kgf/cm²）	
	作動水圧	9.81kPa（0.1kgf/cm²）	
最低作動流量		3.7ℓ／分	
外形寸法		高さ600mm×幅350mm×奥行247mm	高さ882mm×幅341mm×奥行313mm
重量（本体）		25kg	28kg
接続口径	給湯	R3/4	
	給水	R3/4	
	ガス	R1/2	
電気関係	電源	AC100V（50/60Hz）	
	消費電力(50/60Hz)	77W/77W	68W/68W
		（凍結予防ヒータ 160W）	
	電源コードの長さ	2m	
湯温制御方式		電子式ガス比例制御方式	
安全装置		立消え安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、焼臭防止装置、排気温度センサー（33-357型のみ）	

能 力 表

使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量（最大消費量）	出湯能力（最大時）（ℓ／分）	
	給湯側	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用 13A	52.3kW（45,000kcal）	24	15

- 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- 出湯能力は湯水混合の計算値です。
  但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

MEMO